



学習塾
Applause
アプローズ

2027年度 高校入試資料

～ 那須地区の高校入試を考える ～

今年の高校入試、何が変わる？

那須拓陽高校「普通科」の募集停止が、志望校選びに与える影響

那須拓陽高校 普通
科



2027 年度 募集停止

これまでの定員 80 名＝普通科 2 クラス分の受け皿がなくなる

直近の第 2 回希望調査では 80 名定員に 91 名が希望

では、この普通科志望層はどこへ？

黒磯高校

普通科志向の生徒にとって
有力な選択肢の一つ

黒磯南高校

学力帯・通学圏などから
有力な選択肢の一つ

アプローズの現時点での見方

黒磯・黒磯南を中心に志望動向が変化し、周辺校にも影響が広がる可能性があります。

ただし、80 名がそのまま他校へ上乗せされるわけではありません

- ・ 2027 年 3 月の県内中学校卒業見込者は 15,870 人（前年比 588 人減）
- ・ 私立高校、那須拓陽の専門学科、那須清峰などへの進路変更も考えられます

だからこそ今年は、「昨年の倍率」だけで志望校を判断しないことが重要です。

POINT 80 名募集停止の影響は、地域全体の志望動向で考える。

志望者は、短期間でもこれだけ動く

直近の 2026 年度入試に向けた第 1 回 → 第 2 回希望調査

実際の変化 | 2025 年 10 月 → 12 月

学校	第 1 回	第 2 回	増減
那須拓陽 普通科	86 人	91 人	+5 人
黒磯高校 普通科	245 人	202 人	-43 人
黒磯南 総合学科	181 人	173 人	-8 人
黒羽高校 普通科	38 人	55 人	+17 人
那須高校 普通科	16 人	19 人	+3 人

※栃木県「中学校等生徒の進路希望調査」第 1 回・第 2 回の公表値。

「+ 10 人」でも倍率はこれだけ変わる

100 人募集
100 人志願
1.00 倍



+ 10 人

110 人志願
1.10 倍

10 ～ 20 人規模の動きは、決して小さくありません

直近でも黒羽は 38 人 → 55 人 (+ 17 人)。一方、黒磯は 245 人 → 202 人 (- 43 人)。

希望調査の数字は、受験までの間に大きく変化します。

※この調査だけでは「誰がどの高校からどの高校へ移ったか」は分かりません。
“玉突き”を直接証明するデータではなく、志望者が大きく動くことを示す事例です。

2027 年度は、ここに「那須拓陽 普通科 80 名募集停止」という新しい要因が加わります。

POINT 数十人の動きで、学校ごとの競争状況は変わり得る。

では、今年はどう考える？

倍率を「予想して当てる」のではなく、変化を前提に準備する

直近（2026 年度）一般選抜の出願倍率

黒磯
1.03 倍

黒磯南
1.06 倍

黒羽
1.03 倍

那須
0.68 倍

大田原
1.00 倍

大田原女子
0.93 倍

※一般選抜定員に対する出願人員の倍率（2026 年 2 月 19 日時点）

学校別 | 現時点での見方

黒磯高校
直接影響に注目

普通科志望層の動向を確認

黒磯南高校
特に注目

志望者増加の可能性を注視

黒羽・那須など
玉突きに注目

周辺校への志望変更も確認

大田原・大田原女子
別枠で分析

上位普通科の志望動向を見る

これから確認する「3つの数字」

① 第1回 進路希望調査 最初の志望動向を確認

② 第2回 進路希望調査 受験校を絞る時期の変化を確認

③ 一般選抜 出願状況 最終的な競争状況を確認

保護者・生徒のみなさんへ

昨年の倍率だけで判断せず、最新の希望調査を見ながら志望校に必要な学力をつけていきましょう。

倍率は自分では決められない。
でも、合格できる学力は自分で作れる。